

19年度研究助成に14人

矢崎科学技術振興記念財団

科学技術の研究開発を支援する矢崎科学技術振興記念財団（東京都）はこのほど、2019年度の研究助成金受領者14人を決定した。新材料、エネルギー、情報

の3分野を対象に公募し、独自の科学技術の進歩に大きな貢献が見込める研究を選定。「一般研究助成（助成金200万円）」7件、若手研究者向け「奨励研究助成（100万円）」

7件を決めた。

中部地区では、一般研究助成で名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻の大木靖弘准教授と静岡大学工学部機械工学科の李洪譜教授、奨励研究助成で名古屋大学大学院理学研究科物質理学専攻の伊藤英人准教授が選ばれた。

また、国際的な学会での研究発表や共同研究に参加する際の渡航費を支援する「国際交流援助」に13人、過去の研究助成の中から優れた成果を表彰する「矢崎学術賞」に2人を選出した。同財団は、1982年に矢崎総業（本社東京都）の創業40周年を記念して設立。研究助成金の贈呈は今回で37回目となる。